

2016 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」公募助成成果報告会

2016 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」公募助成の成果報告会（一般公開）を下記のとおり開催します。公募助成 3 件について、1 年間の活動成果を発表していただきます。また、前国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン事務局長で、現在はパタゴニア日本支社の環境・社会部門ディレクターを務める佐藤潤一さんに、「環境問題を広く伝えて解決につなげるキャンペーンの方法」についてゲスト講演をお願いします。ぜひご参加ください！（事前申し込み不要）

日時: 3 月 26 日 (日) 14:00～17:00

場所: アジア文化会館 129 号研修室 (入場無料)

<http://www.abk.or.jp/access/index.html> (都営三田線千石駅、東京メトロ南北線本駒込駅ほか)

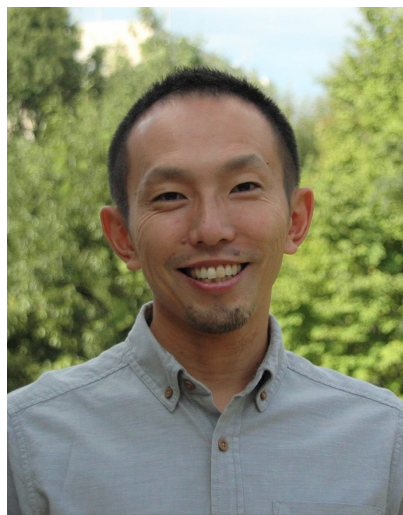
【プログラム】(発表予定順)

14:00～14:05	開会あいさつ	
14:10～14:35	IUCN 浸透性殺虫剤タスクフォース	国際会議 "Post-Neonics, What Next?" の開催とライブ配信
14:40～15:05	松本晃一、寺山隼人	ネオニコチノイド系農薬の生物への摂取経路と水環境リスクに関する研究及び啓発～金目川水系を例にして～
15:10～15:35	東北大学大学院薬学研究科薬理学分野 山國研究室	哺乳類末梢・中枢神経系におけるイミダクロプリドの神経毒性に関する薬理学的研究
15:40～16:25	【特別講演】佐藤潤一 「環境問題を広く伝えて解決につなげるキャンペーンの方法」	
16:30～16:55	自由討議	
16:55～17:00	閉会あいさつ	

※ 各発表には質疑応答を含みます

※ 助成企画概要

<http://www.actbeyondtrust.org/wp-content/uploads/2016/05/e0ec791666aaeb1d0b3281a728ab54df.pdf>



特別講演 環境問題を広く伝えて解決につなげる キャンペーンの方法

佐藤潤一 (パタゴニア日本支社 環境・社会部門ディレクター)

メキシコ北部の先住民族タラウマラ人との生活経験から環境・社会問題に目覚める。帰国後、国際環境 NGO グリーンピース・ジャパンで、森林・海洋保護、ごみ問題、原発問題などの環境課題に取り組み、2010 年に同団体の事務局長に就任、2016 年退任。現在は、ビジネスを手段として環境問題の解決に取り組むパタゴニア日本支社で環境・社会部門ディレクターを務める。